



仙台城南高校 入学式

～ 338名の新入生を迎えて ～



4月8日(火)、桜花爛漫、晴れやかな青空の下、本校アリーナ21で入学式を挙行了しました。普通科・特別進学コース19名、総合進学コース187名、科学技術科132名、合計338名が真新しい制服に身を包み、高校生として新たな生活をスタートさせました。学級担任の呼名に応える新入生の希望に満ちた明るい笑顔が、とても印象的でした。吹奏楽部の演奏が、入退場の雰囲気を明るく華やかに盛り上げてくれました。

令和8年度の仙台城南高等学校は、全校生徒933名での船出です。



学校長式辞

高校生活の第一歩を踏み出す皆さんに、私がぜひこの城南高校で身に付けていただきたい資質があります。それは、日本の素晴らしい伝統や文化を大切に守りながらも、「コスモポリタニズム」、すなわち「私たちは世界市民である」という意識を持つことです。「コスモポリタニズム」という言葉を耳にすると、何か遠い世界のように感じるかもしれません。しかし、私たちが生きる現代において、これは極めて身近で、かつ不可欠な視点なのです。

私たちは今、ここ仙台にいても、世界の情勢と無縁でいることはできません。例えば、遠く離れた中東で緊張が高まれば、わずか数日後には日本の原油価格が上昇し、運輸や金融といった企業の株価に影響を及ぼします。私たちの食卓や移動、日々の生活コストに、タイムラグなしに直結しています。私たちの日常は、世界の動きと連動し、相互に影響を与え合いながら動いています。地球の裏側で起きていることは、もはや「他人事」ではないのです。

私たちの足元である宮城県の状況を見てみましょう。昨年10月末時点で、外国人労働者は2万人を超え、過去最高を記録しました。ベトナム、ネパール、インドネシアなど、多様な国々からの方々が、私たちの社会を支える大切な一員として暮らしています。

実は、このような「異文化と交わり、世界を見据える」姿勢は、この仙台の地に深く根ざした伝統でもあります。今から約400年前、伊達政宗公は、慶長遣欧使節をスペイン帝国へと派遣しました。新しい技術と交易を求め、支倉常長らの一行を大海原の先へと送り出したのです。日本人として初めてヨーロッパに赴き、本格的な外交交渉を行ったこの画期的な出来事は、まさにここ仙台から始まりました。異文化との交流、未知の世界へ挑む精神は、古くから東北の地に備わっていたのです。

皆さんに考えてほしいのは、「自分も豊かになる、他人も豊かになる」という共生の精神です。世界市民としての意識を持つことは、自分を失うことではありません。むしろ、多様な価値観に触れる中で、「自分らしさ」や「日本人としてのアイデンティティ」を再認識することに繋がります。

「コスモポリタニズム」とは、国境を否定することではなく、国境を越えて人間としての絆を大切にし、お互いの違いを尊重しながら、より良い社会を共に創り上げようとする姿勢のことです。この意識こそが、これからの不透明な時代を生き抜くための、最強のコンパスとなります。

本校の「グローバルコンピテン্সプログラム」では、国籍も文化も異なる先生方とのオールイングリッシュによる授業を展開します。また、台湾への研修旅行や、希望者に対するシンガポール、アメリカ・デラウェア州へのスタディーツアーなど、本物の異文化に触れる機会を豊富に用意しています。言葉の壁や文化の違いに戸惑うこともあるでしょう。高校での3年間を通じて、世界の一員であるという自覚を深め、未来へ羽ばたく準備をしていただきたいのです。

新入生の皆さん、これから始まる高校生活は、皆さんの人生において、最も思い出深く、そして価値のある時間となるはずです。今日のこの「初心」を忘れないでください。

それぞれの夢や希望に向かって努力を惜まず、一日一日を悔いのないように積み重ねてください。その努力の先に、必ず「未来の自分」の姿が見えてくるはずです。皆さんが、この仙台城南高等学校で充実した日々を送り、世界に羽ばたく逞しい市民へと成長することを心より祈念いたしまして、式辞といたします。

令和8年4月8日

仙台城南高等学校 校長 伊藤 俊



新入生の抱負

新入生代表宣誓

新入生を代表して、坂元 陽菜さん(閑上中出身)が宣誓を行いました。「本日、入学を許可されました私たち一同は、仙台城南高等学校の教育方針に従い、校訓・校則をよく守り、仙台城南高校の生徒としてその本分を尽くすことを誓います。」と厳粛な雰囲気の中、堂々と宣誓しました。

大役を任せ、「少し不安もありましたが、とてもうれしかったです。本番ではとても緊張しましたが、しっかりと代表宣誓を行うことができました。貴重な経験ができて良かったです。」と述べていました。



《普通科 特別進学コース》

いしはた たいが

石幡 大河さん(高森中出身)

私はこの仙台城南高校に入学して、自分の強みを伸ばし、目標とする大学に進学することを目指しています。高校では、中学と比べてより多くの内容を学習します。その中で、普段の一つ一つの授業から集中して取り組み、自分の苦手を克服したいと思います。そして、新たな学びを得て、自分自身が成長した姿で3年後を迎えられるように頑張りたいです。

また、学校行事などを通じて仲間との絆を深め、充実した悔いのない高校生活を送って行きたいと思います。

《普通科 総合進学コース》

めぐろ しゆう

目黒 志勇さん(みどり台中出身)

私はこれからの高校生活で、たくさんのことに挑戦し、何事にも全力で取り組もうと考えています。中学校では挑戦することを少し恐れていましたが、高校という新たなステージで、勇気を持って挑戦し、大きく成長できるようにしたいです。

また、部活動ではサッカー部で自分の課題と向き合い、サッカー部を引っ張っていき存在になりたいと思っています。

高校3年間を充実したものにできるようがんばります！

《普通科 総合進学コース》

さとう あまね

佐藤 天音さん(六郷中出身)

私は高校生活3年間でしっかり学習に取り組みたいと考えています。

理由の一つは、苦手教科を苦手なまま終わらせたくないということです。

大学に進学するためにも、苦手教科を克服する必要があると思います。

もう一つは、大学の教育系の学部へ進学を目指していることです。将来の夢を実現するためには、この仙台城南高校で幅広く学び、自分の進路選択の可能性を高めて行きたいと思います。



《科学技術科》

やまだ はるき

山田 春輝さん(生出中出身)

高校では科学技術科の一員として、特に専門的な知識と技能をしっかり身に付けたいと考えています。授業や実習に主体的に取り組み、失敗を恐れずに挑戦を重ねることで、自分の力を伸ばしたいです。

また、仲間と協力しながら課題に取り組み、コミュニケーション力や考える力も高めて行きたいです。学校行事や日々の学校生活を大切に、楽しく過ごすとともに、自分の将来につながる充実した3年間にして行きたいです。

対面式・部活動紹介

新入生を迎えて、生徒会主催の対面式を行いました。部活動紹介では、各部が趣向を凝らしたステージ発表や活動ビデオで、各部の取組や特長を紹介しました。放課後には、中庭やアリーナ、教室等で部活動説明会が行われ、積極的に入部の勧誘が行われました。部活動は、先輩や仲間と共に活動し、交流を深めることなど、高校生活を充実したものにする一助となります。新入生には、自分に合った部を選んで、楽しく活動してほしいと思います。本校では、複数の部を掛け持ちする「兼部」も行われ、自分の可能性を広げている生徒もいます。

